

# 今、何の病気が流行しているか！

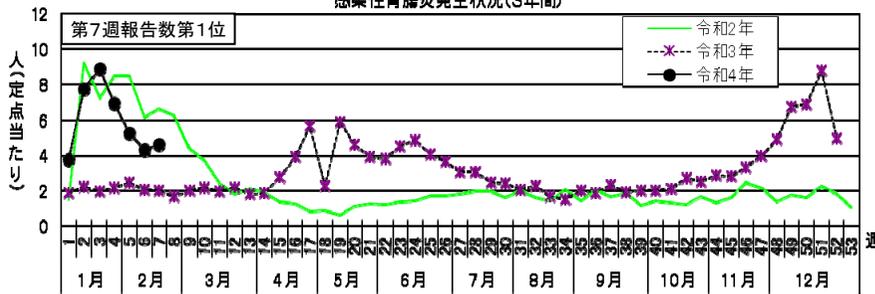
## 【感染症発生動向調査事業から】

令和4年2月14日（月）～令和4年2月20日（日）〔令和4年第7週〕の感染症発生状況

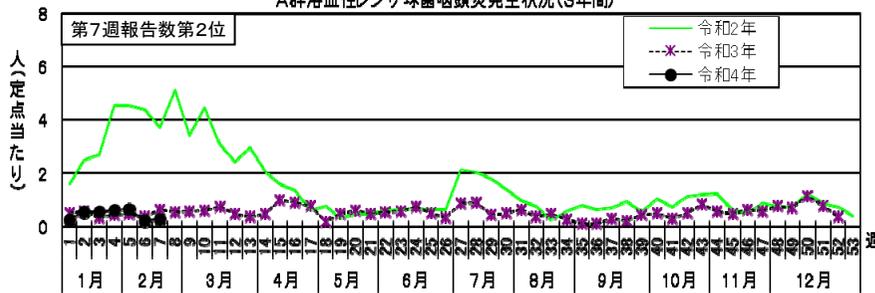
第7週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・突発性発しんでした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.61人と前週（4.33人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.28人と前週（0.19人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.28人と前週（0.28人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。



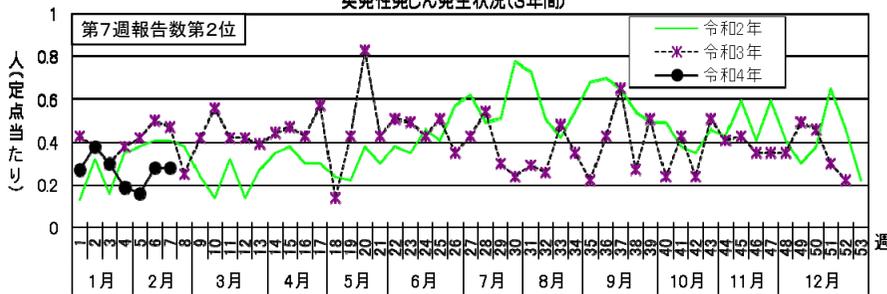
感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



突発性発しん発生状況(3年間)



## 5～11歳の方へ新型コロナワクチンの接種券を発送します。

新型コロナウイルス感染症は、小児では症状が軽いことが多いものの、基礎疾患等を有する小児では、重症化のリスクが高いとされています。そのため、5～11歳（平成22年4月2日～平成29年3月1日生まれ）の小児に対して、新型コロナワクチンの接種の機会を提供することとなりました。

新型コロナワクチンを接種する際には、他のワクチンとの接種間隔を2週間以上あける必要があります。他のワクチンの接種を予定されている場合は、接種間隔に注意して予約をお取りください。

### 5～11歳の方の新型コロナワクチン接種に関する情報

対象者	接種日において5～11歳の方 (原則として、接種日に川崎市に住民登録のある方)
ワクチンの種類	ファイザー社製（5～11歳用） ※1回目接種時に11歳だった方が2回目の接種時まで12歳の誕生日を迎えた場合、2回目接種にも5～11歳用のワクチンを使用します。
接種間隔・回数	3週間の間隔をあけて2回接種
接種券の発送日	平成22年4月2日～平成29年3月1日生まれの方 →令和4年2月24日（木）に発送 平成29年3月2日以降生まれの方 →対象年齢に達する月の月上旬に発送予定
予約受付開始日	令和4年3月1日（火）午前8時30分～ 準備が整った医療機関から順次受付開始予定
接種開始日	令和4年3月5日（土）以降 →一部の医療機関で接種を開始 令和4年3月14日（月）以降 →準備が整った医療機関から順次接種を開始
接種場所	市内協力医療機関約150か所 ※医療機関一覧については川崎市のホームページをご覧ください。

### 新型コロナワクチンを受ける際の注意点

- ✓接種にあたって
    - ・ワクチンの接種には保護者の同意と立ち合い（同伴）が必要です。
  - ✓予防接種を受ける時に持っていくもの
    - ・接種券
    - ・予診票
    - ・本人確認書類（健康保険証等）
    - ・母子健康手帳
  - ✓予防接種の費用
    - ・無料
- 詳細については、川崎市のホームページをご覧ください。

・3月中の予約受付について（お願い）  
3月のワクチン供給量は限られています。基礎疾患等のある方が優先して接種を受けていただけるように、基礎疾患等のない方は、4月以降の接種も御検討をお願いいたします。